

GREEN RADAR

全農長野県本部情報 / グリーンレーダー



5月3日～5日に開催された善光寺花回廊

特集

TPP交渉における国会決議の実現を！
～都内で「長野県要請集会」「緊急国民集会」開催～

A-Front

「JA長野県農産物PR協議会」発足
～JA長野県の5連合会を会員とする「JA長野県農産物PR協議会」が発足しました～

A-Reports

- ・4等級以上比率が85%、29頭が信州プレミアム牛肉に認定！
～第26回京都信州和牛枝肉共励会 最優秀賞1席にJA洗馬 安塚初男氏受賞～
- ・善光寺花回廊で信州産アルストロメリアを販売
- ・きのこの消費拡大には余地がある！
～松本山雅FCホームゲームできのこ消費拡大PR～

6

Vol.421
JUNE 2014



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

「JA長野県農産物PR協議会」発足

「JA長野県の5連合会を会員とする」「JA長野県農産物PR協議会」が発足しました」

52年間活動した「信州農産物PR協会」の解散

長野県が主導となって設立され、昭和37年以降、JA長野県グループ・長野県寒天組合・長野県漁連等が会員となり活動してきた「信州農産物PR協会」（事務局／全農長野県本部）は、国・県段階で開催される農林水産イベントの中で長野県農畜産物とその加工品のPRを行うと共に、また地産地消や食育活動に取り組んできました。高度成長期にあった日本経済に支えられ、「作つたものをどのように売るか」が求められる中、同協会事業の位置づけは大きいものでありました。



あいさつをする沖村会長

しかし、時代の変化の中で農畜産物の販売も不安定な状況となり、「売れるものをいかにして作るか」が産地に課せられる時代となる中で、県産農畜産物のブランド化や安全安心志向の高まりを受け、同協会のあり方を昨年1年間をかけて検討してきました。一方で、長野県の方針として、平成26年度より県産品のPR事業をはじめ、マーケティング関連事業は全て『おいしい信州ふーど（風土）』事業に集約し、県の予算を集中する」という方向付けがされました。

このような状況を受け、同協会

は平成26年3月31日をもって解散しました。

県産農畜産物をアピールする新たな方法

信州農産物PR協会の解散により、JA長野県が一体となって農畜産物をアピールする方法を模索し、新たな組織として「JA長野県農産物PR協議会」が発足しました。

長野県は豊かな自然環境の中で、高品質でバラエティに富んだ農産物が生産され、JAと生産者が一体となって農産物の一大産地を築いてきました。「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、国産農畜産物への期待は高まっており、長野県JAグループの「食農教育」、「地産地消」の活動や、「食の安全・安心」への取り組みなどは、更に注目されるものと思われまます。

同協議会は、JA長野県グループの県域組織が協力し、同グループが取り扱う農産物・畜産物およびそれ

ら産物を原料とした加工品について、その取り組み姿勢をアピールし、長野県産農産物の認知・定着および消費の拡大を図り、ひいては長野県内生産者の経営の安定に寄与することを目的としています。

4月30日(水)に開催された設立総会では、会長に全農長野県本部生産販売部 沖村俊彦部長が選任され、沖村会長は挨拶の中で「会則にある『生産者の経営の安定に寄与する』という目的に向かって事業を推進していきたい」と述べました。総会では26年度の事業計画、役員の選任を行い、提案どおり承認決定がされました。

会 員 JA長野中央会、JA長野信連、JA全農長野、JA長野厚生連、JA共済連長野
会 長 全農長野県本部生産販売部長 沖村俊彦
副会長 JA長野中央会総務企画部長 武重正史

4等級以上比率が85%、29頭が信州プレミアム牛肉に認定！

「第26回京都信州和牛枝肉共励会 最優秀賞1席にJA洗馬 安塚初男氏受賞」

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会と全農長野県本部は、4月21日(月)に京都食肉市場(株)で、第26回京都信州和牛枝肉共励会を開催しました。県内肉牛生産者により丹精込めて育てられた和牛39頭が出品されました。4等級以上比率が85%であり、29頭が長野県独自のおいしさ基準を達成し信州プレミアム牛肉に認定されました。

京都食肉市場(株)関係者から、「信州プレミアム牛肉は買参人から一定の評価を得ている。信州和牛も4等級以上比率が高いという認識だ」と高い評価を頂きました。今後も長野県の畜産事業発展のため、枝肉共励会・研修会等を開催し、信州和牛(信州プレミアム牛肉)の販売において長野県・関係団体と協力し販路拡大に努力していきます。



主催者のあいさつをする山崎畜産酪農部長



最優秀賞1席の枝肉

●共励会の成績

和牛去勢	平均枝重532.4kg	平均単価1,976円
和牛雌	平均枝重449.3kg	平均単価1,947円

●第26回京都信州和牛枝肉共励会 入賞者 (敬称略)

賞	JA名	生産者	種別	性別
最優秀賞1席	JA洗馬	安塚 初男	和牛	去勢
最優秀賞2席	JA信州うえた	岡本 泰郎	和牛	去勢
優秀賞	JAみなみ信州	野神 昭三	和牛	雌
〃	JAみなみ信州	矢沢 邦登	和牛	雌
〃	JA北信州みゆき	(農)美雪ファーム樋口	和牛	去勢
優良賞	JA長野ハヶ岳	津金 武幸	和牛	去勢
〃	JAみなみ信州	中田 裕康	和牛	去勢
〃	JAみなみ信州	北沢 忍	和牛	雌
〃	JA松本ハイランド	アグリランド松本	和牛	去勢

8農場33頭に「チルド受精卵」の移植作業を実施

5月10日(土)～11日(日)、東信地区と南信地区の8農場において合計33頭の乳牛に「チルド受精卵」の移植作業が行われました。通常、受精卵は凍結した状態で保管しますが、「チルド受精卵」は4℃で温度管理されるため、使用できる時間に制約がありませんが、高い受精率(妊娠する確率)が期待できます。

昨年度、県本部ハヶ岳牧場等で2回にわたり移植を行った結果では、70～80%の高い受精率が得られました。今回は一般の酪農家も含め対象牛を選抜し、全農全国本部ET研究所(北海道)の獣医師が8農場で合計33頭の乳牛に受精卵の移植作業を行いました。

畜産酪農部では、今回の移植の結果を検証しながら、今後、チルド卵移植を県内で定期的に実施するための技術チームを立ち上げ、受精卵移植頭数を拡大することにより、酪農家の所得の増加と優良和牛子牛の生産に努める計画です。



JA長野ハヶ岳管内での移植の様子

善光寺花回廊で信州産アルストロメリアを販売

全農長野県本部野菜花き課は、5月3日(土)～5日(月)に開催された「善光寺花回廊」ながの花フェスタ2014」に出展し、信州産アルストロメリアの販売を行いました。天気心配される日もありましたが、爽やかな5月の連休ということもあり、大勢の方が来場されアルストロメリア販売ブースに立ち寄り、お買い上げいただきました。「美しい信州の花展示販売コーナー」ということで、販売ブースの周りには、県内産の新鮮やかなアルストロメリアを使ったミニメントも飾られ、来場者は思い思いに鑑賞されたり記念撮影されていました。

出荷最盛期のアルストロメリアは色とりどりの品種が揃い、ご来店された方々は花束を手にとって「アルストロメリアは花が長持ちして良いね」などと楽しんで選んでいただき、好評のうちに販売を終了しました。

加えて初日限定で、北信事業所管内J Aから出荷されたアリウム・ブルーパフュームの販売を行いました。ブルーパフュームは、開花するとバニラの香りがする花として販売されていますが、地元

ではあまり目にするのが少ない珍しい品種のためか、「ネギボウズに似ている」「本当にバニラの香りがするの?」と足をとめられる方も多くいらっしゃいました。



「どれも素敵で迷っちゃう」

アルストロメリアのミニメント
装飾:長野県生花商業協同組合の皆さん

J Aビルで信州の花が咲き誇りました!

全農長野県本部野菜花き課は、信州産の花をJ Aビル(長野市)1階ロビーに展示する取り組みを試験的に実施しました。2月17日(月)からアルストロメリア、3月10日(月)からチューリップを使い、取引先でもあるヌボー生花店様から納品、装飾アレンジの製作をいただきました。また花材や産地のこだわり、品種の紹介も、味のある手書きPOPであわせて展示していただきました。

アルストロメリアは主に、J A佐久浅間・上伊那・信州諏訪・松本ハイランドから、チューリップは主にJ A北信州みゆきから出荷されています。それぞれ約1週間の展示期間でしたが、花の特長が生かされ、時間が経ってもなお美しい一種の「アート」のように、ビルを訪れる人や働く人の目と心を潤してくれました。

今後も、展示品目と時期を選定して、実施する予定です。



チューリップのアレンジと紹介ボード



アルストロメリアのアレンジ(使用花材はアルストロメリア、サンゴミズキ)

きのこの消費拡大には余地がある!

松本山雅FCホームゲームできのこ消費拡大PR

全農長野県本部きのこ課は、4月20日(日)・26日(土)の松本山雅FCのホームゲームで「消費者に直接PRすることで更なるきのこの需要を掘り起こし、改めて地元産のきのこを食べるきっかけにしたい」ときのこの消費拡大PRを行いました。

PRを実施した両日とも、来場したサポーターにはきのこのさまざまな食べ方を提案し、抽選会のプレゼントにはきのこのセットを提供しました。さらに、ユース選手と両チームにもきのこを贈呈しました。

会場には長野県農畜産物統一キャラク

ターの「信州力」も登場し、サポーターの皆さんと写真撮影をしたり、小学生以下を対象にジャンケン大会を行い、勝ったお子さんにはきのこのグッズをプレゼントするなど、きのこ消費拡大のために大いに活躍しました。

きのこがヘルシーということは認知されてきていても、「どんな料理に使えるのかを知らない」「きのこが冷凍保存できることを知らない」など、まだまだ消費拡大の余地は残されていると感じました。



ジャンケンで150人にきのこグッズをプレゼント



総務広報課 中田課長から松本山雅FC U-18岸野監督にきのこを贈呈



松本山雅FCのオフィシャルマスコット「ガンズくん」と「信州力」

公益財団法人 長野県体育協会へ 長野県農産物を贈呈

全農長野県本部生産販売部は、公益財団法人 長野県体育協会へ長野米2・5トン、信州りんごジュース100箱(3,000本)、ふるさとのなめたけ茶漬100ケース(1,200本)を贈呈し、4月25日(金)に長野市内のホテルにて贈呈式を行いました。

贈呈した農産物は、公益財団法人 長野県体育協会加盟の各団体を通じて選手の皆様のもとに届きます。

この取組みは、本年度16年目を迎えました。毎年、各団体の選手は大会で素晴らしい成績を残しています。今年度も長野県の農産物が選手の皆様の活躍につながるよう、また将来、小平奈緒選手のようなオリンピック選手が輩出されるよう期待しています。

寄贈団体名

所属団体名	種目
木曽福島少年相撲クラブ	相撲クラブ
上田西高等学校	レスリング部
飯山高等学校	スキー部
伊那西高等学校	新体操クラブ
軽井沢高等学校	アイスホッケー部
東海大学付属第三高等学校	男子バスケットボール部
佐久長聖高等学校	駅伝部
佐久長聖高等学校	スケート部
創造学園高等学校	男子バレーボール部
長野東高等学校	陸上部
長野市立長野高等学校	スケート部
東京都市大学塩尻高等学校	女子バレーボール部



長野県体育協会 林理事長(左)と小林副本部長

りんごのワインが出来ました！

「共和シナノゴールド」ワイン発表会

共和園芸農協産のシナノゴールドを使った「共和シナノゴールドワイン」が発売されました。

長野県のオリジナル品種シナノゴールドはシャキシャキとした歯ざわりで甘味と酸味のバランスが良く、保存性に優れているのが特徴です。しかし、皮が薄く傷つきやすく、また完熟するとツル割れしやすいなど、栽培が難しい品種でもあります。共和園芸農協は標高370メートルとシナノゴールドの栽培に適した環境で、同品種の特徴である美しい黄色に果皮が色付きます。

4月25日(金)に長野市内で開催された発売発表会には多くのテレビ・新聞の取材があり、注目度の高さがうかがえました。開会の冒頭、岡澤賢朗組合長は「シナノゴールドは栽培が難しくロスが出てしまう品種だが、上手に利用して付加価値を付け、販売していきたい」とあいさつしました。

製造したのは地元共和地区の(株)西飯田酒造店で、原料は共和産シナノ



ゴールド100%、酵母は共和産りんごの花酵母と、まさに地産地消のワインとなりました。美しい黄金色のワインはほんのりと甘く渋みが無いので大変飲みやすく、様々な料理に合わせて召し上がっていただけそうです。大好評につき初回生産分は完売しましたが現在新たに仕込み中で、7月より共和園芸農協直売所で1本1,080円で追加販売されます。

小平奈緒選手が練習拠点をオランダへ

長野県産農畜産物の顔としてCMなどに協力していただいているスピードスケートの小平奈緒選手が、練習拠点をオランダに移すために4月25日(金)に出発しました。

出発1週間前の4月18日(金)、結城匡啓コーチと共に全農長野県本部に挨拶に見え、新しい環境への期待を語りました。

受け入れ先の女子プロチーム「コンティニュー」(拠点ノヘーレンフェイン)の指導者は長野オリンピックでメダルを獲得しており、また、同チームにはソチオリンピックでメダルを獲得した選手が所属しています。小平選手は「何が違うのかを感じてきたい」、結城コーチは「出来るだけ帰国せずに頑張ってください。そして帰ってきたときにはどんな練習をしてきたのか、反対に教えてほしい」と語られていました。高木本部長からは、「環境に慣れるまでは



(前列左から)高木本部長、小平選手、結城コーチ(後列左から)湯本管理部長、真島副本部長、中田総務広報課長

大変だと思いますが、頑張ってください」とエールが送られました。小平選手は1年間の予定で同チームと練習を共にします。全農長野県本部はこれからも小平選手を応援していきます。

ミルクマガジン「牛乳セミナー」のお知らせ

全農長野県本部などは、「運動」後に「牛乳」を飲むことで熱中症予防になることを知ってもらおうと、「牛乳セミナー」を開催します。

牛乳を少し負荷のある運動後に飲むと筋力向上と血液量を増やす効果があり、その結果、発汗速度が向上され熱中症予防にも効果が期待できます。

今回のセミナーでは、基調講演の講師に能勢博氏(信州大学大学院医学系研究科教授)を招き、「運動(インターバル速歩)+牛乳で熱中症を予防」と題した講演をしていただきます。またパネルディ

スカッションでは、インターバル速歩実践者やスポーツ関係者、栄養士、酪農生産者など各分野の視点から牛乳と運動と健康の関係を専門家が解説します。総合司会にSBCラジオ「ミルクマガジン」でおなじみの中澤佳子アナウンサーを迎えるほか、県内各地の牛乳やヨーグルトの試飲&試食、アトラクションなど盛りだくさんの内容で開催します。

6月1日は「牛乳の日」、6月は「牛乳月間」です。牛乳を毎日飲んで、暑い夏を乗り切りましょう。



日時:6月14日(出)13:30~16:00
会場:JA長野県ビル アクティーホール
入場:無料
先着250名、定員になり次第締め切らせていただきます
【お問い合わせ先】
全農長野県本部酪農課
TEL.026(236)2382

詳細はこちらをご覧ください
やっぱ信州の牛乳でしょ 検索

メニュー提案で消費拡大を

「きのこ入りニラ玉」試食販売で好評

全農長野県本部東京販売事務所は、4月から5月にかけて関東地区のイトーヨーカドー、エイヴィ、富士シティオなどの量販店、延べ50店舗以上で販売促進員による、きのこの試食宣伝を行いました。

きのこは「いつも同じ食べ方になってしまふ」という意見をよく聞きます。そこで、使い方次第でメインのおかずにもサイドメニューにもなることをアピールするために、試食販売を通して数多くのメニューを提案しています。この春は各量販店で「きのこ入りニラ玉」を提案したところ、「ご飯のおかずにも、お酒のおつまみにもなる」「作り方が簡単」と年齢・性別を問わず人気がありました。人気があるメニューは「簡単に作れる」「好まれる年齢層が広い」「一品で複数の品目が摂れる」という共通点があるようです。試食宣伝などで売り場に立ち、直接お客様のニーズを把握することで消費拡大につなげていきたいと考えています。



写真: 左上富士シティオ、右上エイヴィ、左ユナイテッドベジーズ

信州★チカラ きのこのレシピ

たっぷりきのこのニラ玉

★材料(4人分)

- ぶなしめじ..... 100g
- エリンギ..... 100g
- ニラ..... 100g(1束)
- たまご..... 3個
- マヨネーズ..... 大さじ2
- 塩コショウ..... 適量(お好み)

★作り方

- ①ぶなしめじは石づきを落としてほぐしておく。エリンギは半月切(薄切りを半分)に。ニラは5cmくらいにカット。
- ②たまご、マヨネーズをよく溶いておく。
- ③熱したフライパンに油を入れ、①を炒め塩コショウで味をととのえる。最後に②を加え、たまごが固まる直前で火を止める。
- ※お好みでマヨネーズを溶いておく。お好みで。

JA全農長野



1 4/19 大槻会長は県民集会で、国会決議を守るよう強く求めた 2 4/19 県民集会でのデモ行進(松本市) 3 5/14 全国から2,600人が集結
4 5/14 県選出国会議員らに緊急要請をする芳坂副会長 5 5/14 長野県要請集会でのガンパロー三唱 6 5/14 都内でのデモ行進

TPP交渉における 国会決議の実現を！ ～都内で「長野県要請集会」 「緊急国民集会」開催～



5/14 緊急国民集会でのガンパロー三唱

今年2月、シンガポールで開催されたTPP閣僚会合以降、日米二国間協議の動向に交渉参加各国の注目が集まる中で、4月には米国オバマ大統領が来日し、日米首脳会談が開催されました。この間に実務者及び閣僚級協議が集中的に行われ、「二国間の重要な課題について前進する道筋を特定し」両国がTPP参加国に対して「可能な限り早期に行動するよう呼びかける」とされました。

秘密保持契約を背景に協議内容が全く明らかにされていない中、様々な報道が行われ、情報に対する混乱と不安や懸念が広がっています。

TPP交渉妥結に向けた機運が高まる中、5月12日(月)からTPP主席交渉官会合がベトナムで開催されるとともに、APEC貿易大臣会合に合わせてTPP閣僚会合が開催され、TPP交渉は大きな山場を迎えました。

こうした状況を踏まえ、全農長野県本部をはじめJA長野県グループは4月19日(土)に開催した県民集会等で再三にわたって地元選出国会議員に国会決議の実現に関する要請を行ってきましたが、改めて、5月14日(水)に東京都内で「TPP交渉における国会決議の実現を求める長野県要請集会」を開催するとともに、同日都内で行われた「TPP交渉における国会決議の実現と情報開示を求める緊急国

民集会」並びにデモに参加しました。

「長野県要請集会」は同日12時より、都内「航空会館」にて行われ、県内各地区から生産者代表の皆さんをはじめ、JAグループ役職員100名以上が集結し、県選出国会議員・同秘書11名に対し要請活動を行いました。

要請活動は大槻共通会長によるあいさつのあと、芳坂共通副会長によりTPP交渉に関して、

1. 「米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要品目を除外又は再協議の対象とする」などとした、衆参農林水産委員会決議を必ず実現すること。
2. TPP交渉に関する情報開示

を徹底し、利害関係者の意見を確実に交渉過程に反映すること。

を要請しました。併せて5月に県内で発生した豚流行性下痢(PED)に関して、

1. ウイルス侵入経路の早期解明
2. ワクチンの早期確保と適切な供給
3. 予防対策への支援
4. 発生した生産者の経営への万全な支援

について緊急要請をしました。

更に会場の生産者代表から県内の農畜産業の現状とともに、TPPがもたらす影響や豚流行性下痢(PED)の深刻な状況が訴えられ、県選出国会議員に対し、国への迅速かつ的確な対応を働きかけるよう多くの声が出されました。

これら要請に対し各議員からは、「県内産地の状況を改めて理解する中、皆さんの要請事項の実現に向け精一杯の活動をしていきたい。引き続き皆さんからの力強い支援をいただきたい」との決意表明とあいさつがありました。

「長野県要請集会」に引き続き、同日14時30分から日比谷野外音楽

堂に全国からJAグループをはじめ関係団体の2,600人が集結するとともに、自民党石破茂幹事長・公明党井上義久幹事長はじめ各都道府県選出与党議員が出席して「緊急国民集会」が開催されました。

同集会ではJA全中萬歳会長をはじめ、一次産業各団体や日本生協連など消費者団体の代表から連帯のあいさつをいただき、TPPは国内農業に限らず国土の保全、食の安全にまで影響を及ぼす全国的課題であることを改めて確認しました。また、与党幹事長からは、情報の未開示は交渉参加国間の約束事であるが、国益を懸けて強い交渉力をもって必ず勝ち抜くこと、国会決議を必ず守ること、交渉の後支えとして政府与党に対する強い支持を得たい旨のあいさつがありました。

集会は「TPP交渉における国会決議の実現と情報開示を求める特別決議」を採択し、引き続き日比谷公園から国会議事堂を経由して永田町までの約1.7kmをデモ行進しました。

6月の動き▶

総合企画部	●子会社定時株主総会 6月25日(水) J A長野県ビル
営農センター	●営農指導者会議 通常総会 6月4日(水) J A長野県ビル
生産販売部	●平成26年度 長野県青果物・花き取引会議 6月2日(月) ホテル国際21
果実課	(JA長野県農産物PR協議会) ●第9回食育推進全国大会 ～しあわせ信州食育フェスタ2014～ 6月21日(土)・22日(日)長野市エムウェーブ
酪農課	●ミルクマガジン「牛乳セミナー」 6月14日(土) J A長野県ビル アクティーホール
長野販売事務所	●市場若手研修会 6月17日(火) 長野県農村工業研究所
A・コープ事業部	●「信州がおいしいフェア」 信州の旬の味覚が大集合 6月13日(金)～15日(日) A・コープ店舗各店 ●「父の日セール」 6月13日(金)～15日(日) A・コープ店舗各店 15日には、日ごろのご愛顧に感謝し、店内1,000円以上お買い上げのお客様に「チオピタドリンク」1本プレゼント(1家族様1本限り) ●「漁港直送フレッシュ宣言」7周年 6月20日(金)～22日(日) A・コープ店舗各店

訂正とお詫び

5月号 (vol.420) におきまして、記載に誤りがありました。読者及び関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたします。
正しくは以下の通りです。

- 表紙及びP1 A-Frontタイトル
(誤) 農家組合員の経営安定と農相生産基盤の維持に努める
(正) 農家組合員の経営安定と農業生産基盤の維持に努める

JA全農長野の事業現況

平成26年度4月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	1,171	71	114
果	実	50	54	54
野菜	花き	531	85	79
野菜種苗	センター	40	107	96
きのこ		1,158	93	101
営業		327	64	102
生産販売部計		3,276	79	99
包装資材		348	71	50
生産資材		1,574	120	73
農業機械		556	93	81
施設住宅		97	107	44
生産購買部計		2,575	103	68
畜産		1,187	106	99
三岳平谷牧場		18	124	93
SPF繁殖センター		24	96	97
酪農		1,098	107	104
八ヶ岳牧場		21	97	118
畜産酪農部計		2,348	106	101
燃料・ホームエネルギー		2,457	93	90
SS協同経営		891	94	87
生活		1,007	93	86
生活部計		4,354	93	88
A・コープ事業部計		2,341	99	103
長野県本部計		14,895	94	90

新採用職員紹介

【経理課 井出将也】

はじめまして。経理課の井出将也と申します。働き始めたばかりでわからないことが多く、日々勉強の連続です。一日でも早く仕事を覚え、立派な職員になれるように頑張ります。加えて、親孝行をすることも今の私の目標です。社会人生活は大変ですが、県内産の農産物を食べて力をつけ、どんな苦難も乗り越えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



電話に出る速さは負けません！

【米穀課 寺島ゆかり】

はじめまして、米穀課の寺島ゆかりと申します。要領が良いほうではないのですが、少しでも早く仕事に慣れ、人の役に立てる人材になりたいです。それと同時に、食べることが大好きですので、県内の美味しい農畜産物とお酒とを腹八分目、健康に気をつけながら楽しんでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



武井米穀課長とパチリ

A-Board

「ブロッコリー&ズッキーニキャンペーン」開催！

全農長野県本部野菜花き課は、6月9日(月)から7月6日(日)に「ブロッコリー&ズッキーニキャンペーン」を行います。

キャンペーン内容は、量販店に設置してある応募はがきにクイズの答えを記入して応募してもらい、クイズに正解した方の中から抽選で合計50名様に信州の野菜セット、信州の美味しいスイーツをプレゼントします。

ブロッコリーは長野県産への期待が高く、生産拡大を進めている品目です。ズッキーニは長野県では出荷量が一番伸びている品目ですが、まだ調理方法が十分普及していません。キャンペーンにより長野県産のブロッコリーとズッキーニを消費者の皆さんに知っていただき、産地を意識して購入していただくことをねらっています。

また、「ブロッコリー&ズッキーニキャンペーン」に引き続き、7月5日(土)から8月10日(日)まで「レタス&白菜キャンペーン」を予定しています。

これからも新鮮な長野県産野菜が毎日食卓に上るように消費宣伝に努めてまいります。



編集後記

なんでも最近若い皆さんが車を買わない・乗らないのだから、金銭的な理由もあるでしょうが、昔との価値観の違いもありそうです。業界もあれやこれや対策を考えているようです。

「TPPで様々な規制が緩和されれば、若者だって安く車を持てるようになるさ。」という「TPP経済万能論者」らしき人の話を脇で黙って聞いていました。TPPで物が安くなることは想像しても、安全性や自分の仕事と収入への影響を心配する様子はありませんでした。

美味しい話には必ず裏があるもの。田舎で車は生活の必需品です。安く購入・維持できれば大歓迎ですが、シワ寄せはどこかにありそうです。

順番がきたので「自動車税は期日までに」と書かれた、軽トラ含め一家3台分の払い込み票を窓口に出しました。

信州の快適&セーフティドライブ!

お近くの県内45店舗の
スマイルステーションをご利用ください。



あなたとくるまの
SMILE STATION



グリーンロード西箕輪／グリーンロード伊那／グリーンロードみすず／グリーンロード春富／グリーンロード西春近／サザンポートみのわ
 東部中央／フラワーロード駒ヶ岳／七久保／グリーンパーク座光寺／まつかわ／市田／カリスたかぎ／グリーンパーク桐林
 カーポートあち／アイロードあなん／メルヘンロード尖石／米沢セルフ／玉川／ふじみセルフ／おんたけ／ハイランドセルフ島内
 フルーツロードいまい／麻績／松本臨空／アルプスロードはた／グリーンロードやまがた／北小野セルフ／パノラマロードときわ
 アルペンロード神城／白馬アルプス／川中島セルフ今井／南長野公園前セルフ／長野インター松代セルフ／アグリしなのセルフ
 バリオ／アンズロード／西部セルフ／中之条セルフ／相之島／井上セルフ／高山／志賀高原／あぐりタウンセルフ／東部



携帯サイトはこちらから



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA全農長野ホームページ…………… <http://www.nn.zennoh.or.jp>
 インターネットで産地直送「JAタウン」…………… <http://www.ja-town.com>

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

